

ほっぷ
すてっぷ

じゃAんぷ

2022

9

Vol.283

特集

“職業は農業”を地域でサポート
次代を担う新規就農者



地域の期待を一房のブドウに

「食農立国JAいわて中央」を支える生産者の思いをつなぐコーナー

県内有数のブドウ産地
良いブドウを作るこだわり

なだらかに連なる丘陵の風景が美しい紫波町の東部地域。リンゴや西洋なしなどの果樹栽培が盛んなこの地域では、収穫の秋を目前に、たわなに実ったブドウが収穫時期を迎えていた。

8月下旬、自宅作業小屋で収穫したブドウの規格を一つひとつ確認しながら黙々と出荷準備を行う吉田貴浩さん。「ブドウは種類が豊富で毎年新しい品種も多く出ます。それぞれに性格があり管理の仕方も違ってくるので、そこが栽培の面白さですね」とその魅力を語る。家は五代にわたり続くブドウ農家で、自身も農業高校や県立農業



1. 貴浩さんは両親やパート従業員と共に、計3.5haの面積でキャンベルやサニールージュ、シャインマスカットなどの生食用品種や、その他加工用品種を栽培している
2. 収穫したブドウは、房の調整を行い、丁寧に箱詰めをする
3. 収穫を間近に控えたサニールージュ。害虫などの外敵から守り、ブドウが新鮮な証を示す「ブルーム」を落とさないよう、収穫直前まで袋を掛けて管理する
4. 「紫波町のブドウは味が良いと評価をいただいています」と話す貴浩さん。「この良さを伝承し、紫波町のブドウが全国で有名になっていってくれたら嬉しいです」と笑顔を見せる



大学校で果樹栽培を学び、農家の栽培指導や地元ワイナリーで醸造などに携わった後、13年前に就農した。

生物系の知識や栽培・醸造など、幅広い分野でブドウについて学んできた貴浩さん。特に大事にしていると話すのが、栽培の基礎となる土づくりだ。貴浩さんが暮らす赤沢地区の土壌は粘土質な性質を持つが、ブドウの木がより栄養を取り入れやすい環境にするために、有機物を与えることで土壌の団粒化を維持し、これを品種ごとの状態に合わせて管理している。また、ブドウ木の管理も、木を良い状態に保つための大切な作業となり「木や葉の表情を伺いながら、変化にすぐ対応できるよ

うにしています」と貴浩さんは話す。

就農以降、借り受けた土地などを利用しながら経営規模を拡大し、多品種のブドウを栽培する貴浩さん。「作業が重なり、手が回らなくなる時期もあります」と大変さを話しながら「二カ所の園地に入ったら今できる作業を早めに行い、一緒に作業するパートナーなども作業の目安を設けるなど一定のルールを決めて作業の効率化を心掛けています」と工夫を語る。

地域活動での人の出会い 産地と町の活性化を目標に

生産者としての一面だけでなく、地域住民の一員として

地域活動や学校行事などにも熱心に取り組んでいる貴浩さん。特に、地域が抱える課題解決のために取り組んだ活動や、子どもたちとその親世代を巻き込んだイベントを通じて地域とのつながりが強くなったと振り返り「身近で起きていることを自分事として考え、皆で向き合っているような地域になってほしいです」と期待を込める。

地域の活性化、その思いは



4

農業にもつながる。「世の中の動きに対応しながら、その状況に合った方法を実践していかなければいけない」と話す貴浩さん。「10年後、20年後を見据えて、今は農業をしていない若い世代の人とも思いや考えを共有し、消費者からも生産者からも必要とされるような産地を目指して、部会の活動にも取り組んでいきたいです」と部会長としての熱い意気込みを見せている。

今月の表紙

よしだ たかひろ

吉田 貴浩さん (43)

紫波町赤沢でブドウを栽培する専業農家で、JAぶどう生産部会の部会長を務める。趣味はスキーと登山



目次

CONTENTS

未来へつなぐ食農立国	2
吉田 貴浩さん(紫波町)	
特集	4
“職業は農業”を地域でサポート 次代を担う新規就農者	
NewsFile	8
鮮度重視で適期収穫を 早生リンゴ目揃え会 他	
営農情報	10
水稻の刈り取りと乾燥調製作業について 他	
Deliciousいわて vol.04	12
サン・フレッシュ都南さ おでつてくなんせ!	
まちのスマイル	13
インフォメーション	15
各種手数料の改定のお知らせ 他	
今月のレシピ	16
ピーマンとチーズの春巻き	



特集

“職業は農業”を地域でサポート 次代を担う新規就農者

農業従事者の減少や高齢化が進む現代では、担い手の確保が地域農業において重要な課題となっています。働き方が多様化しているなか、農業を一つの職業、一つの働き方として選択し、さらなる農業振興に向け一緒になって地域を盛り上げる新規就農者を育成すべく、行政やJAは協力体制のもとで新規就農者に対する様々な支援を行っています。今回の特集では、就農するまでの流れや管内で農業に励む新規就農者などについてご紹介します。

岩手県の新規就農者数の内訳 ● ()内はJ A管内の人数 (単位:人)					
就農区分	H29	H30	R1	R2	R3
自営就農者	128	121	140	124	110
雇用就農者 ^{※1}	90	124	128	188	167
合 計	218(21)	245(31)	268(27)	312(35)	277(25)
うち青年就農者数 ^{※2}	185	203	195	235	215

※1 雇用就農者数は、農業生産部門に従事する者をカウント

※2 青年就農者は45歳未満のこと

出典:岩手県の調査データより抜粋

農業を職業に 新規就農の今

近年、農業に新しい可能性を見出し、チャレンジする新規就農者が注目されています。その理由には「農産物を生産しやりがいにつなげたい」「地域と密に関わり役に立ちたい」といった声が多く、地方から都市部に移住した人が再び故郷に戻る「Uターン」、都市部出身者が地方に移住する「Iターン」など参入方法も様々です。岩手県の調査によると、令和3年度の新規就農者数277人のうち雇用就農者は167人で全体の約6割を占めるなど、農業法人等に就職して農業に携わる働き方も増えています。

「初めは誰だっって1年生」 地域一体となったサポート

J Aでは、新規就農者を地域一体で支えるため、行政や農業関係団体と連携した支援に取り組んでいます。具体的には、J Aの営農経済相談員(T A C)が中心となり、訪問活動

等で得た情報を行政等の担当者と共に、新規就農者が「目指す農業」を実現させるための営農計画の策定や技術習得に向けた研修の提案など、準備から就農後の経営を見据えたサポートを行っています。さらに、営農指導以外にも農業資金の借入れやもしもに備えた保障の提案など、総合事業を活かしたサポートもJ Aの強みの一つ。働き手が必要とする農家と農作業をして収入を得たい人をつなぐJ Aの無料職業紹介所では、農業求人情報を随時紹介しているほか、農作業希望者説明会を定期的に開催するなど、農業に携わるきっかけ作りにも取り組んでいます。



農作業希望者説明会の様子

新規就農は、目指す農業によって大きく3つのタイプに分かれます //

新たに農業を始める(独立・自営就農)

農地の取得や借入、機械・設備の購入、営農資金の準備、生産・経営管理技術の習得などが必要。経営者として自分の裁量で進めることができる反面、全てを自分で準備しなくてはならないため、計画をしっかり立てて長期的なプランで進めることが重要です

後継者として農業を始める(実家の農業を継ぐ)

農地や農業機械など基本的な装備が整った状態からのスタート。栽培技術については、実際に栽培や飼育をしながら習得することもできますが、改めて研修を受けることもおすすめします

農業法人等へ就職する(雇用就農)

雇用就農は、給与をもらって働きながら農業技術を身に付けることが可能。農地等の準備が必要ないため比較的容易に就農の機会が得られますが、取り組む前には農業法人で働くことが主体なのか、将来独立するためのステップなのかをある程度明確にする必要があり、特に将来に向けたステップであれば自分のやりたい農業に合った農業法人を選ぶことをおすすめします

近年
増加中!



管内でがんばる新規就農者にクローズアップ！

わたしの就農ストーリー

新規就農したお二人に就農のきっかけや今後の展望を伺いました



農業がつかない人との出会い 夢は“アイデアを農業に”

羽成 知也さん【紫波町・陣ヶ岡】

経営内容 トマト

サラリーマンとして働きながら「自分で何かを始めたい」と将来を考える中で、農家だった親戚が亡くなったことが重なり、漠然と就農を考えるようになりました。役場に相談したところ研修を勧められ、縁があり盛岡市の農業法人で3年間研修をさせていただきました。当初からいずれは独立して頑張りたい

という気持ちがありましたが、その点も理解いただき、技術指導以外にも生活面でもサポートして下さったのがとてもありがたかったです。

それから研修と同時進行で準備を進め、今年6月に独立就農しました。正直栽培には苦戦していますが、周りの方に教わりながら日々勉強しています。栽培で規格外が多く出てしまった時、販売のアドバイスや新規就農支援の一環で病院食の材料に起用してもらったことがあり、町やJAのサポートがとても心強かったです。まだスタートしたばかりですが、品質向上と面積拡大を目標にしながら私自身大事にしている「楽しく生きる」という気持ちを忘れずに頑張っていきたいです。

▲ JAの無料職業紹介所を利用して出会った5人のパートさんと農業に励む羽成さん。

「作業の助けだけでなく身近で色んなアイデアを教えてくれるので『少しずつ形にしていきたいね』といつも話しています」と笑顔を見せます

おいしいブドウを消費者に ブドウのブランド化を目指して

岩井 優子さん【紫波町・赤沢】

経営内容 ブドウ・リンゴ・梨・にんにく

私の実家は専業農家で、父が中心となりブドウやリンゴを栽培していました。就職を機に離れて暮らしていましたが、夫が農業に魅力を感じて就農を決意したことをきっかけに6年前に紫波町の実家に戻り、私も父の経営を引き継ぐ形で昨年本格的に就農しました。

就農して一番心強かったのは身近な先輩農家の存在です。指導会へ参加するうちに地域の農家さんとも交流が増え、父や県外に住む農家である姉夫婦には技術面以外にも資材等も譲り受けたものもあり、低コストで始めることができたのも大きかったです。子どもの頃から農業は大変なイメージがありましたが、自分のやり方次第で可能性が広がり、今思うと自分に合っていたのではないかなと感じています。紫波町のブドウをさらに有名にするためにも今は家の農業を絶やさないうつコソコソと頑張っていきたいと思っています。



加工用品種「ヤマソービニオン」をはじめ、10品種以上を栽培する岩井さん。▲「特に大粒種を収穫のために袋から開ける瞬間は、いつもつい見とれてしまいます」と収穫の喜びを話します

INFORMATION

就農のあれこれを知りたい！

令和4年度 新農業人フェアinいわて

日時	令和5年1月14日(土) 13:00~16:00(受付12:30~)	入場 無料
場所	いわて県民情報交流センター アイーナ8階 803・804会議室	
内容	● 新規就農セミナー 就農者の事例発表、就農支援情報紹介等 ● 個別相談会 就農(独立自営・雇用)・農業研修等の相談 (農業法人が出展します) 「農地を探したい人の相談コーナー」の設置も！	

※新型コロナウイルスの感染状況により、内容の変更や開催が中止となる場合がございます

お問い合わせ

岩手県農林水産部農業普及技術課 ☎ 629-5654

農作業の研修をしたい！

新鮮いわて農業チャレンジ体験研修

1日体験コースの「チャレンジコース」と最長5日間の「インターンシップコース」の2つのコースで、県内の農業法人等で農業を体験できる研修です。

体験レポートも更新中！詳しくはこちら



実施期間

令和4年5月30日(月)から
令和5年2月24日(金)

(研修は、参加者の希望をもとに、農業公社と研修先が受入可能な日を調整して実施します)

お申し込み・お問い合わせ

公益社団法人岩手県農業公社 就農支援部
☎ 623-9390

農業資金の準備・相談をしたい！

JAバンクの農業資金

「農業用ハウスを建てたい」・「農業機械を導入したい」等、農業資金の利用を検討されている場合は、お近くのJA金融窓口または総合相談センターにご相談ください。

詳しくは
こちら



新規就農に 関するご相談

- 【就農予定地が決まっていない方】 ● 岩手県農業経営・就農支援センター いわて就農相談窓口 …… ☎ 629-5654
(岩手県農林水産部農業普及技術課)
- 【就農したい市町村がお決まりの方】 各市町村の農政担当課もしくは農業改良普及センターまで
● 盛岡農業改良普及センター(管轄:盛岡市・滝沢市・雫石町・紫波町・矢巾町) …… ☎ 629-6726
- 【JA管内での就農に関わるご相談】 ● JA営農販売部担い手対策課 …… ☎ 676-3428

就農するまでのステップ

STEP 1 情報収集と就農相談

県や市町村が開く就農相談会や相談窓口に出向き、どの地域でどんな作物を作りたいのかイメージしましょう。そのうえで、独立・自営で農業を始めるか、農業法人等に就職するかを検討することも重要です

STEP 2 品目の選択と知識・技術の習得

目指す農業経営を考え、作付品目や年間の栽培・出荷等の経営スケジュール、自分の知識や経験に応じた研修への参加を検討するなど、イメージを固めていきましょう

STEP 3 資金の活用と農地の確保

自己資金を準備したうえで、営農&生活プランに基づいた資金活用を計画し、不足の場合は借入れも検討しましょう

POINT 行政等に相談し、公的な支援制度を有効に活用しましょう

農地は予定する経営内容によって条件が異なるため、必要な農地をイメージしましょう

POINT 早い段階から市町村の農業委員会に相談し、地域の方々と信頼関係を築くことも大切です

STEP 4 就農計画の作成

目指す農業計画の実現に向けて、就農計画(青年等就農計画)を作成します

POINT 青年等就農計画とは
新たに農業を始める人(青年等)が、いつ・どこで・どのような農業経営を始め、その経営目標と実現に向けて必要な事業計画や資金計画などを記載したもの。この計画が市町村長に認められると「認定新規就農者」として様々な支援を受けることができます

STEP 5 就農先への定住

できるだけ農地の近くが理想ですが、家族の状況にも応じて相談しましょう

POINT 農村社会の一員になるので、共同作業や伝統行事などへの参画も知っておくといいいでしょう

STEP 6 機械や施設の取得

中古品やリースを上手に活用し、必要なものから備えましょう



鮮度重視で適期収穫を 早生リンゴ目揃え会

News File
ダイジェストを公開中!



サンプルを見ながら着色基準などを入念に確認しました

JAは8月24日、リンゴの早生品種の目揃え会を管内5会場で開き、「きおう」「さんさ」「つがる」などの受付対策や選果基準を確認しました。

盛岡市乙部の園地で開いた目揃え会には、生産者や市場関係者、JA担当者ら約30人が参加。早生品種は果実が軟化しやすいため、鮮度重視で収穫することを確認し、品種ごとにサンプルを見ながら目視選別基準を統一しました。JA担当者は「計画的に作業を進めていただき、より多くのリンゴをJAに出荷していただきたい」と呼び掛けました。

刈り取り適期見極める



圃場巡回を実施 JAもち米生産部会



生育を確認する部会役員ら

JAもち米生産部会は8月19日、部会役員とJA担当者ら13人が参加し、管内の圃場巡回を実施しました。出穂期からの積算気温等を確認しながら刈り取り適期を見極め、出荷品質の均一化を図ることを目的としています。

巡回の結果、早い圃場で9月上旬の刈り取り予想であることを確認。JAもち米生産部会の滝浦新悦部会長は「刈り遅れは品質低下につながるので、早めの刈り取りに努めましょう」と話し、適期作業を進めることを呼び掛けました。

北飯岡チームが優勝!



年金友の会本部 ゲートボール大会



打球の行方を見守る会員ら

JA年金友の会は8月18日、紫波町のサンビレッジ紫波で令和4年度ゲートボール大会を開き、北飯岡チーム(飯岡支部)が優勝しました。

競技には会員ら12チーム70人が参加し、日頃の練習の成果を発揮。優勝した北飯岡チームの会員は「主将のリードにより、上手く試合を進めることができて良かった」と笑顔を見せました。上位3チームは9月7日に行われるJAバンク岩手主催のゲートボール大会へ出場します。準優勝以下の結果は次の通りです。準優勝=乙部チーム(都南乙部支部)、3位=三本柳チーム(見前支部)

地域の魅力再発見！



キュウリ栽培を学ぶ 地元学び塾を開催



キュウリを収穫する参加親子

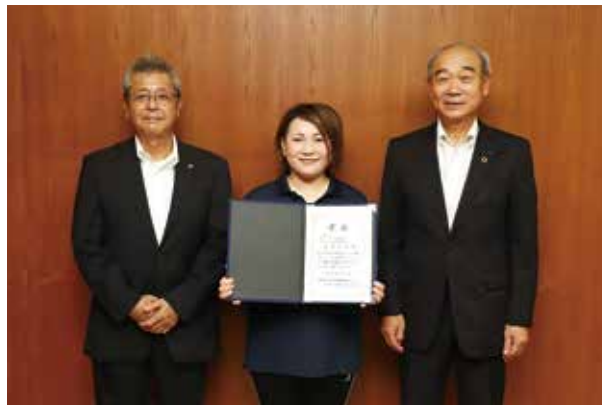
矢巾町は町の農業・食材に対するファンを増やし、新たな魅力を発見してもらうことを目的に8月20日、地元学び塾を開きました。

11組22人が参加した今年度1回目の学び塾はキュウリがテーマ。矢巾町室岡の村松孝美さん・美穂さんご夫婦が講師を務め、参加者はキュウリの生育について学んだ後、圃場へ移動して収穫を体験しました。村松さんは「自分が栽培したキュウリを目の前で消費者の方に食べてもらうことが新鮮だった。体験を機に農業に携わってもらえたら嬉しい」と笑顔を見せました。

畠山泉穂さんが最優秀賞受賞！



フレミズ活動 岩手県作文コンクール



受賞を喜ぶ畠山さん(中央)と浅沼組合長(右)、畠山常務(左)

JA岩手県女性組織協議会が主催する令和4年度「フレミズ活動わたしの一步!」岩手県作文コンクールにおいて、JAフレッシュ部紫波支部の畠山泉穂さんが最優秀賞を受賞し、8月8日に浅沼組合長のもとを訪れ報告しました。

畠山さんは「まずは、交流してみよう!」と題し、フレッシュ部に加入して得た経験や今後取り組みたいことなどについて発表し「活動に興味を持ってもらうきっかけになれば嬉しい」と笑顔を見せました。畠山さんの作文は、岩手県代表として全国コンクールへ応募されます。



JA SISTERS NEWS

隔月で姉妹JAの取り組みを
皆さまにお届けします!

今月は宮城県

JA新みやぎ

〳 姉妹JAとは? 〵

JAいわて中央は宮城県の「JA新みやぎ」、愛媛県の「JAえひめ南」、福岡県の「JA筑前あさくら」と姉妹JA提携を結んでいます。自然災害など不測の事態が起きた際に互いに助け合うことや相互交流を深めることなどを目的としています。



東北で初導入!

葉ネギ収穫機で省力化を実現

宮城県大崎市鹿島台の本地集落営農組合は、東北で初めて加工・業務用葉ネギ収穫機を導入しました。

組合員が一つ一つ葉ネギを手刈りで収穫していましたが、JAが作業の機械化を提案し、省力化を目的に導入しました。

収穫機は葉ネギを1度に3~4条、株元から刈り取りコンテナへ収納します。7月28日、同組合はプラスチックコンテナに葉ネギを収穫しました。齋藤秀政組合長は「収穫機で作業効率が大幅に改善した。他の生産者に貸し出し、地域全体の収穫効率を向上させたい」と話しました。



収穫機を操作する
齋藤組合長(写真右)



米穀

今月の担当

盛岡地域営農センター 米穀課 中川 貴伸

水稻の刈り取りと乾燥調製作業について



今年の水稲栽培は、6月下旬から気温・日照時間ともに平年を上回り、平年よりも早い生育経過となりました。出穂期は8月1日頃と平年より2日程早くなっています。今後の天候に注意して、適期刈り取りと適切な乾燥調製を行いましょう。

1. 刈り取り適期の判断と目安

水稻の早刈りや刈り遅れは品質低下の原因となります。刈り取りをする目安として出穂後の積算温度などがありますが、日照時間や圃場条件などによって前後します。

適期に刈り取りするには圃場ごとに籾の8割が黄化【図1】したことを確認して刈り取りを行いましょう。

2. 異品種・異物混入防止

混入事故は、産地全体の信頼を失うことにつながります。収穫から乾燥調製まで細心の注意を払い、混入防止対策【表1】を実施して異品種や異物混入を防ぎましょう。

3. 乾燥調製作業

① 乾燥

刈り取りした生籾は4時間以内に乾燥機へ張り込みましょう。

● 乾燥の仕上げ水分
うるち米 15・0 %
もち米 14・5 %



水分は4行程ごとに測定

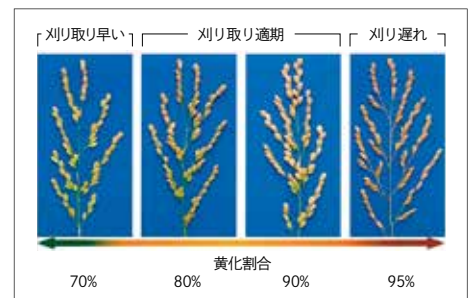
1. 生籾
2. 乾燥途中
3. 乾燥終了直前
4. 籾摺り直前

② 調製

調製作業の開始前には、必ず機械の点検整備と清掃を行いましょう。また調製作業時での品質低下や異物混入を避けるためにも、ゴムロールやライ

収 穫	刈り取り前に品種を確認する。品種ごとに収穫する。品種の切替え時にコンバインの清掃を行う。
乾 燥・調 製	品種ごとに乾燥・調製する。品種の切替え時には、乾燥機・調整機の清掃を行う。
機械等格納	翌年の混入を防ぐため、コンバイン等の格納時に清掃し、残留した籾を取り除く。

【表1】 混入防止対策



【図1】 籾の黄化割合と刈り取り適期

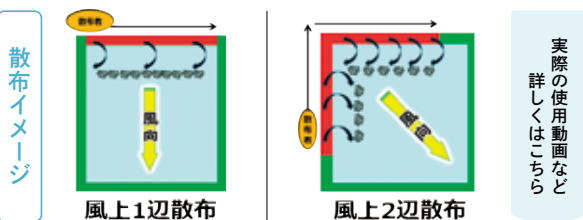
1haの圃場でも散布時間は約2分！※

水稻除草剤の新しい剤型「FG剤」のご紹介

※風上1辺散布時

FG剤の特徴 (Floating Granule=浮遊粒剤)

- 水面に浮きながら速やかに自己拡散する製剤です
- 風と圃場の水流で有効成分が圃場全体に拡がります
- 1ha規模の大規模圃場でも中に入って散布する必要がないため、作業労力の軽減や散布時間を短縮する省力化が可能です



令和5年春用肥料・農薬予約申込書では、一発処理除草剤「サラブレッドGO」のFG剤を取り扱っています。食農立国米を作付される方はこの機会にぜひご注文ください。

協友アグリ株式会社



- スグレーダー等の調整箇所の摩耗具合、金属片や部品・ゴム等の脱落など点検を行いましょう。
- 調製時のライスグレーダーの網目 LL型(1.9mm)の出荷時の量目
- 紙袋
皆掛け重量…1袋あたり30・5kg
- フレコン
正味重量…1本あたり1,089kg
(1,080kg+余マス9kg)

4. 農作業安全について

秋の農繁期を迎え、農作業時の不注意や機械の誤操作による農作業事故の発生が懸念されます。ゆとりのある作業計画を立て、農作業安全を心掛けましょう。



園芸

小松菜の栽培管理と
新規生産者の募集について

今月の担当

紫波地域営農センター園芸特産課 田端康生



J Aではハウス所有者を対象に小松菜栽培を推進しています。年末出荷に向けて、秋季期間からの作付けを行っていきま

1. 圃場準備

● 雑草防除を行い、前作の病害虫を持ち込まないようにしましょう。

● 栽培期間中になるべくかん水しないように播種前にしっかりとかん水を行います。

● 肥料については基本的に前作の残りで栽培可能です。前作がない場合は、施肥を行います。

2. 播種

播種については10月10日頃が目安となっています。裸種子・シーダテの2種類から選択して種まきを行います。シーダテは専用の機械で作業を行います。

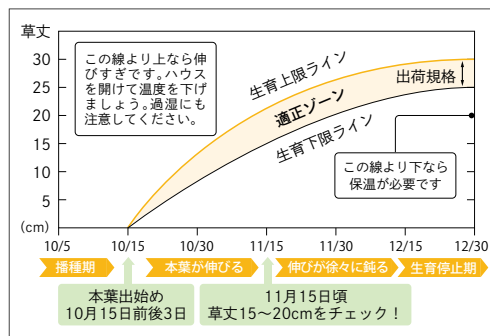
※機械については園芸特産課で貸出を行っており、ますので、お気軽にご相談ください。

3. 播種後の温度管理

10月から11月中旬までは芽出しから葉を伸ばす期間となるため、ハウスサイドを閉めるなど温度確保に努めましょう。11月下旬から12月以降については寒さに慣らしていきます。

4. 最後に

年末の需要期に向け、小松菜の新規栽培者を募集しております。ハウスをお持ちの方で栽培に興味がある方は、9月下旬頃に栽培講習会を開催いたしますので、ぜひお近くの園芸特産課にお問い合わせください。



子牛市場情報 (令和4年8月25日・中央家畜市場)

地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
紫波	15	672,000	426,000	566,133	286	33,033
矢巾	7	614,000	459,000	578,571	304	63,238
盛岡	6	603,000	529,000	568,333	278	28,500
J A 計	28	672,000	426,000	569,714	289	38,683
市場計	89	904,000	426,000	564,674	295	37,864
地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
紫波	21	832,000	438,000	633,857	327	46,376
矢巾	7	679,000	600,000	637,143	338	48,365
盛岡	9	788,000	440,000	621,667	306	19,758
J A 計	37	832,000	438,000	631,514	324	40,408
市場計	162	870,000	393,000	634,414	326	12,446

(株) 畠山畜産の

出品牛が

鹿児島全共へ!

今年10月に鹿児島県で行われる第12回全国和牛能力共進会に向けて岩手県出品牛最終選抜会が行われ、肉牛の部・第8区「肥育去勢牛個体」において(株)畠山畜産(紫波町)が全国和牛能力共進会の出品牛に選出されました。





地元で味わう！

Delicious
Iwate
いわて

矢巾町・煙山

Vol.04

矢巾町国民保養センター食堂

矢巾町特産をふんだんに
こだわりの「南昌山カレー」
南昌山の麓に位置する「矢
巾町国民保養センター」。矢巾
温泉「南昌の湯」や宿泊施設、
食堂を併設するこの場所は、
観光のみならず地域の憩いの
場としても人気のスポットです。
「矢巾町の特産食材を味わ
いながら、お客様や食材を作る
生産者さんに家族のような温
かい空間を提供したいです」と
話すのは料理長の八幡桂一さ
ん。同食堂で親しまれているの
が、看板メニューの「南昌山カ
レー」です。特産のシイタケをは
じめ地元産の米や野菜、きの
こ類をふんだんに使用。南昌
山の形をかたどったご飯が目



矢巾町国民保養センター食堂

〒028-3623

矢巾町煙山1-5

☎ 019-697-2310

営業時間 11:00～20:00

(ラストオーダー19:30)

※平日14:00～16:00は利用不可

定休日 毎月第3火曜日・12月31日～1月2日



を引く食べ応え満点なメニュー
で、使用する食材も季節によっ
て変わるため、四季ごとに違っ
た味わいを楽しめるのも魅力
です。その他にも、程よい辛さ
が老若男女問わず人気の「辛
みそラーメン」や冬期限定の
「やはばおでん」も定番で、厚
焼き玉子などのお惣菜テイク
アウトも充実しています。
八幡さんは「どの料理にもひ
と手間加えて、ここだけの味を
味わってほしい」とこだわりの話
しながら「皆さまに喜んでもら
えるよう心を込めて作っていま
す。ぜひ一度いらしていただきた
いです」と笑顔を見せています。

KEIICHI YAHATA

料理長 八幡 桂一 さん

盛岡市内の料亭やホテルなどでの経験を経
て6年前から同食堂の料理人に。今では矢
巾町の風土や特産食材に魅了され、お客
様からの「おいしい」をやりがいに日々
料理を提供しています





サン・フレッシュ都南さ

おでっくなんせ!

いよいよ季節は秋。
リンゴや梨なども
これから増えて
いきますので
お楽しみに!



今月は ぶどう

サン・フレッシュ都南では、8月27日から店舗前の催事会場でぶどうまつりを開催中です。ぶどうは例年9月中旬頃に出荷の最盛期を迎え、期間中の土日は生産者が店頭に立ちますので、品種の特徴や食べ頃などを聞きながら時期ごとにお気に入りのぶどうを見つけることもおすすめ。また、9月17日から開催の秋彼岸セールでは、目玉である花束を種類豊富に準備しておりますので、ぜひご利用ください。

イベント情報

最新情報はホームページやSNSをご覧ください

ぶどうまつり 8月27日(土)～11月6日(日)

秋彼岸セール 9月17日(土)～23日(金)

サン・フレッシュ都南

住 所 〒020-0853
岩手県盛岡市下飯岡21-180
TEL 019-637-6801
営業時間 9:00～18:00

Twitter



小枝店長



まち の スマイル

盛岡市・猪去

さ さ き きょうへい あい
右 佐々木 恭平さん(47) 左 愛さん(37)

米やイチゴ、ミニトマトなどの栽培に励んでいる佐々木さんご夫婦。「様々な品目を栽培しているので、常に次のことを考えながら計画的に作業を行えるよう心掛けています」と農業への思いを話す恭平さんの横で、「収穫が弾んだときは楽しいです」と続けて愛さんも笑顔を見せます。

休日は趣味の釣りや読書をしたり、家族で道の駅巡りやラーメンの食べ歩きに行くのが楽しみと話すお二人。恭平さんは1歳になる長男・照英くんを優しく見つめながら「息子の成長を楽しみながら、これからも頑張っていきたいです」と話しています。

二重マスの文字をA～Eの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法

郵便はがきにクイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、今月のテーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛にお送りください。正解者の中から抽選で、JAやサン・フレッシュ都南で使える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

今月のテーマ

秋の楽しみ

応募締切 9月28日 必着

送り先

〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20
JAいわて中央

＼コチラから／

「JAんぷ9月号お楽しみクイズ」係

ホームページ

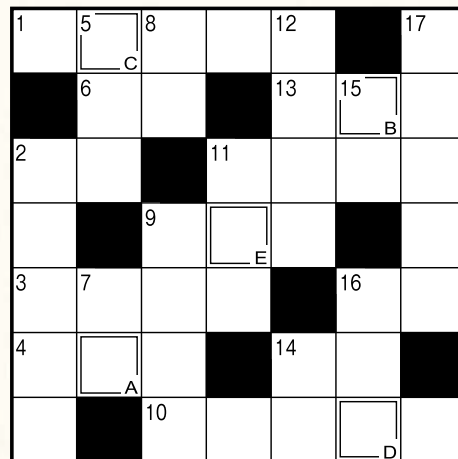
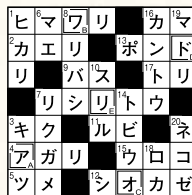
広報誌応募フォームにて受付 ▶

E-mail

kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp



8月号の答え
「アワオドリ」



※ご記入いただいた個人情報、お便りコーナーへの掲載、並びにプレゼントの発送にのみ使用いたします。
当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

→ ヨコの力ギ

- ① 女郎花と書く秋の七草。
同じ——科の植物にオトコエシというのがあります
- ② 頭隠して——隠さず
- ③ すいっちゃんとか鳴く虫
- ④ インフレのときに上がります
- ⑤ 贈答品に付けます
- ⑥ 風が吹くともうかるかも
- ⑦ フェルメールの代表作『真珠の——の少女』
- ⑧ 店の中に他の客はいません
- ⑨ 葉の——は徐々に表れます
- ⑩ 紙を燃やすと残ります
- ⑪ 10を3回掛け合わせると

↓ タテの力ギ

- ⑫ 令和4年9月23日は——の日。国民の祝日です
- ⑬ 秋は稲や栗、ブドウなどいろいろな作物が——を迎える季節です
- ⑭ 竹や梅と並んでめでたい植物
- ⑮ 幸水や豊水が広く作られています
- ⑯ 『赤ずきん』ではおばあさんに化けました
- ⑰ 節約のために——簿を付け始めました
- ⑱ 楽団の前でタクトを振ります
- ⑲ お彼岸には掃除に行き手を合わせる人が増えます
- ⑳ ピンチなんです！
- ㉑ 長く続けると足がしびれることも
- ㉒ ——コーヒー、——フットボール

テーマ 夏バテ解消法

皆様からのお便りをご紹介します！



あえて熱いお風呂に入ります。水がたくさん入った水を飲みながら、ゆっくり浸かり汗をたくさん出します。（岩清水・S／43歳）

体がスッキリしますよね。適度な水分補給と入浴時間に気を付けながら行いましょう！

バランスの良い食べ物をたくさん食べてぐっすり眠ることです。夏だけに限らず、年中この生活様式を変えず、健康な体を維持しています。

（北郡山・M／72歳）

気候の変化に対応しながら健康を維持していくためには、やはり基本が欠かせないですね

野菜を色々食べる。水やお茶をしっかりと一日1ℓくらい飲むことです！（桜町・K／66歳）

まだまだ暑い日が続くこの時期、引き続きこまめな水分補給を心掛けましょう！

「よく食べる」。特に肉と同じくらい夏野菜を食べる。お気に入りにはミニトマトの皮を取り、

めんつゆに漬けて冷やすとか、ミョウガの卵とじなど。初めは驚いたけれどおいしいレシピをもっと知りたいです。

（三本柳・H／44歳）

夏野菜は疲労回復や食欲増進の効果も期待されています。JAのホームページでもレシピを公開していますので、参考にできれば嬉しいです！



家の光 12月号・1月号 購読申込み受付中！

テーマ 「お金は夢のおともだち」

家の光 定価（税込）

- 普通月号……………629円
- 付録月号（1・4・5・7・9月号）……922円
- 家計簿付き12月号……………1,027円



12月号
第1別冊付録



12月号
第2別冊付録



1月号
第2別冊付録

お申し込みは各地域営農センター生活推進課駐在まで

【議決事項】
1. 農産物検査業務規程の一部変更

8月定例理事会が8月30日、紫波支所で開かれ次の議案について決議されました。

理事会報告



役員手帳

地域農業の活性化へ向けて 新しい技術への期待

企画管理専門委員長 川村 松夫 理事

この6月に企画管理専門委員長に就任させていただきました。よろしくお願い申し上げます。

さて、この7月の農業新聞に嬉しいニュースがありました。JA全農が採卵鶏向け配合飼料の半分を飼料用米に置き換えられる技術を開発し、特許を取得したというものです。輸入トウモロコシなどの穀類が大半を占めているものをJA全農はこの穀類を全て米に置き換える技術を開発し、さらには卵黄の色を消費者に広く受け入れていただける黄色からオレンジ色に変えることが可能となりました。これは水田維持や飼料自給率の向上にも期待でき、既にこの鶏卵が販売されているとのことで、このような開発が幅広く進むことを願うとともに、発売されたこの卵を炊きたてのご飯の上にそのまま割って食べてみたいものであります。

第八次中期3ヵ年計画の策定に用いるために分析したデータによると、組合員の高齢化や後継者不足に伴い、今後さらなる組合員の減少が見込まれます。JAいわて中央管内の農地約17,000haを組合員の皆さんの力で元気に耕作していくためにも、冒頭で記したような取り組みの導入で、組合員の皆さんに農業の新たな魅力を感じていただき、斬新的な話題の提供などで農業仲間や家族間の情報交流が活発になるよう、専門委員会などを通じた話し合いの機会を今後も多く設けていきたいと思います。

INFORMATION

各種手数料の改定のお知らせ

JAいわて中央では令和4年10月1日より各種手数料を以下の通り改定とさせていただきます。

1. 貯金関係手数料

種 類	料金基準	改定後	現 行
自己宛小切手発行手数料（新設）	1 通につき	550 円	－
通帳再発行手数料 ※1	1 冊につき	1,100 円	550 円
証書再発行手数料 ※1	1 枚につき	1,100 円	550 円
残高証明書発行手数料	定 例 発 行	1 通につき	220 円
	都 度 発 行	1 通につき	440 円
	監査法人向け	1 通につき	2,200 円
媒体持込手数料 ※2（新設）	1 媒体につき	5,500 円	－

※1 盗難・紛失など貯金者からの依頼による再発行

（消費税込み）

※2 農業を営む個人・農業法人および集落営農組織を除く

2. 両替手数料

両替枚数	改定後	現 行
101 枚 ～ 300 枚	330 円	無 料
301 枚 ～ 500 枚	330 円	220 円
501 枚 ～ 1,000 枚	550 円	330 円
1,001 枚 ～ 2,000 枚	660 円	660 円
以降 1,000 枚ごとに 330 円を加算		

（消費税込み）

3. 現金精査手数料

お持込み金額の合計枚数	改定後	現 行
101 枚 ～ 300 枚	330 円	無 料
301 枚 ～ 500 枚	330 円	220 円
501 枚 ～ 1,000 枚	550 円	330 円
1,001 枚 ～ 2,000 枚	660 円	660 円
以降 1,000 枚ごとに 330 円を加算		

※硬貨のみを対象

（消費税込み）

行政書士による暮らしと 事業の無料相談会のお知らせ

岩手県行政書士会では農地に関することや各種事業の許可、相続・遺言等々皆さまの毎日の暮らしや事業に役立つ手続きについて、以下のとおり無料相談会を開催します。

紫波・矢巾会場

お問い合わせ 岩手県行政書士会紫波支部 ☎672-4734（担当：菊池）

①【日 時】令和4年10月17日（月）午後1時30分～4時30分
【会 場】紫波町商工会館 2階研修室（紫波町日詰字東裏85-4）

②【日 時】令和4年10月18日（火）午後1時30分～4時30分
【会 場】矢巾町商工会館 2階研修室（矢巾町大字南矢幅第8地割261）

盛岡会場

お問い合わせ 岩手県行政書士会盛岡支部 ☎681-0315（担当：廣嶺）

①【日 時】令和4年10月21日（金）午後1時30分～4時30分
【会 場】松園地区公民館（盛岡市東松園二丁目5-3）

②【日 時】令和4年10月24日（月）午後1時30分～4時30分
【会 場】バルクアベニューカワトク 8階相談室（盛岡市菜園一丁目10-1）

※ 新型コロナウイルスの感染状況により、予告なしに中止となる場合がございます

新鮮食材で
楽しくクッキング
— This month's recipe —
今月のレシピ

137杯目



ピーマンとチーズの春巻き

材料（2人分）

ピーマン	2個
スライスチーズ	1枚
ベーコン	1枚
春巻きの皮	4枚
塩	少々
サラダ油	適量
水溶き片栗粉	適量

作り方

- ① ピーマンはヘタと種を取り除き、みじん切りにする
- ② フライパンにサラダ油をひいて①を炒め、しんなりしたら塩をふる
- ③ スライスチーズは4等分に切る。ベーコンは半分の長さに切ってから横長に切る
- ④ 春巻きの皮に②・③をのせて包み、巻き終わりに水溶き片栗粉を塗ってとじる
- ⑤ フライパンにサラダ油を入れて熱し、④を揚げ焼きにして完成

編集後記



渡邊

農家の減少や高齢化が現代農業の課題となる中「この土地で農業を頑張りたい」と農業振興に奮闘する担い手農家の存在は、地域にとって大切な財産であると感じます。自然を相手にしながら自ら経営を行う農業は苦労も多いですが、新たな一歩を踏み出した仲間を地域全体で応援し皆で支えていくこの環境が将来にわたり続いてほしいです。



佐々木

管内は果物の収穫期を迎えています。出荷の本格化を前に行われた目揃い会では出荷規格や選果基準を入念に確認する生産者の皆さんの姿が印象的でした。また、JA担当者の「我々が産地だ」という思いを持って、JAへの出荷をお願いしたい」という言葉も心に残っています。今年もおいしさや品質に誇りを持って、JAいわて中央の果物を届けていきましょう！